

		NPO法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報	
		発行人/理事長 馬場 英男	
		(連絡先) 〒625-0062 舞鶴市森 875-2	
		TEL/090-3281-7539 FAX/0773-63-9764	
		E-mail brick@iris.eonet.ne.jp	
特定非営利活動法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴			
会報 100号 平成29年5月1日			
「NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ		<a href="http://www.redbrick.jp/">http://www.redbrick.jp/</a>	
フェイスブックページ		<a href="https://www.facebook.com/赤煉瓦倶楽部舞鶴-1575484726053495/?fref=ts">https://www.facebook.com/赤煉瓦倶楽部舞鶴-1575484726053495/?fref=ts</a>	

<b>1. 平成29年度NPO法人通常総会のご案内</b>	<b>事務局</b>
-------------------------------	------------

平成29年度のNPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴の通常総会を下記の通り開催します。

同封のハガキにて、5月31日までに総会への出欠をお知らせください。

1. 総会開催日 平成29年6月11日(日) 午後2時から
2. 開催場所 「アトスペース973」にて 舞鶴市森973-1(白鳥通り大森神社参道入口)
3. 議案 ①平成28年度事業報告・会計報告承認 ②平成29年度事業計画・会計予算承認  
③平成29・30年度役員改選の予定

<b>2. 市外近代化産業遺産視察会(予定)のご案内</b>	<b>事務局</b>
--------------------------------	------------

昨年の大阪市内視察に続き、第7回近代化産業遺産視察旅行を下記の通り計画しています。

参加希望の方は、事務局までお申し込みください。申込期限は6月10日まで。

1. 開催日 平成29年7月2日(日) 帰りコース
2. 視察場所 淡路島由良要塞生石山砲台跡、北淡震災記念公園、淡路夢舞台 ほか(予定)
3. 参加費 1万円(予定)

<b>3. 赤煉瓦ネットワーク2017敦賀大会へのお誘い</b>	<b>特定非営利活動法人THAP 監事 河原 継男</b>
----------------------------------	-------------------------------

赤煉瓦倶楽部舞鶴の皆様、こんにちは。2012年の敦賀大会開催の時、事務局長として皆様をお迎えしたNPO法人THAPの河原と申します。この度の大会は、僅か5年で2度目の開催となります。前回は赤レンガ倉庫を活用するためにどうしたらよいか、歴史的建造物と市民活動の関わりについて、舞鶴さんを始め、ネットワーク会員の先進地の方々の活動報告や敦賀のまちづくりへの提案等をお聞きしたことを大会の報告書として敦賀市へ提出しました。以来、赤レンガ倉庫が活用されることを一日千秋の思いで待ちわびていました。

その後、幸いにして赤レンガ倉庫の改修工事が決定、2015年10月14日にリニューアルオープンしました。

今回は、前回皆さんに見ていただきましたが、改修なった「赤レンガ倉庫」、同じく耐震工事を終えた「市立博物館」、それに加え、昨年国登録の有形文化財になった「旧北陸本線のトンネル群」を見ていただきたく、腕によりをかけて趣向を考えています。さらに皆様に満足いただけるような企画も検討中であり、是非楽しみにしていただき、大勢のご参加をお待ちしています。

ところで、敦賀も舞鶴さんと同じく、古くからの歴史があり、大陸との交易が盛んに行われていました。外国からやってきた賓客をもてなす、今でいう迎賓館である「松原客館」が設置されていました。また、奈良時代、都の警備上置かれた古代三関の一つである「愛発関(あらかのせき)」がありました。これは、いつの時代においても天然の良港である敦賀が海路・陸路の物流・人流の重要な結節点であったことが分ります。他に共通点を探しますと、舞鶴は1871年、舞鶴県が誕生した経緯があるとのこと。敦賀も同年敦賀県が設置されました。これも僅か5年間でしたが、同じ変節をたどるといふ偶然の一致であります。また、敦賀には北陸道の総鎮守「氣比神宮」があります。これも同じく舞鶴市岡田由里滝尻に「氣比神社」が存在します。これは、敦賀の氣比神宮の分社といわれ、古くから海運が開け、人と物の交流が行われていたことを物語るといわれています。同じ日本海側の港町として、古代から何らかの縁があったのでしょうか。

蛇足ながらもう一点、御地の舞鶴市長の多々見良三氏は我がTHAP創設者で初代理事長川上究氏と金沢大学医学部の同級生で友人だったとか。現在多々見氏は市長さん、川上氏は当地にて開業医としてそれぞれの立場で頑張っています。何かしら深いつながりを感じます。2023年には北陸新幹線が敦賀までやってきます。今後50年先、100年先のまちづくりを創る、

今がそのチャンス。否、ラストチャンスかもしれません。11月4日・5日に開催予定の今大会では、閉塞感漂うこの敦賀を変えするために、原発依存から脱却できるまちづくり、鉄道と港のまちづくりを、何をどうして、どう創っていくべきか、ネットワーク会員の皆様の知恵とお力をお借りしたいと思っています。



2015年リニューアルオープンされた  
「赤レンガ倉庫」



耐震工事を終え、銀行時の様相を取り戻した  
「敦賀市立博物館」



国登録有形文化財に登録された  
「北陸線トンネル群」

#### 4. 我が国の近代化土木遺産 ～ ドボクイサン重箱の隅 ～

こいけりか (特別会員 NO. 87、(株)奄美群島環境文化総合研究所代表取締役)

これまで数回、舞鶴市内にかつて敷設されていた貨物線の廃線跡を見てきたが、他都市の廃線跡も覗いてみたい。街が変わると廃線跡の使われ方も漂う風情も異なるが、舞鶴の皆様が日頃親しんでいる海舞鶴線、中舞鶴線と他都市の廃線の違いを楽しんでいただくと幸甚である。

神奈川県川崎市は、京浜工業地帯の中核を成す工業都市だ。臨海部には戦前から続く重工業の工場も多いが、近年は撤退する企業も目立ち往時の工業の街の勢いは薄れつつある。川崎の中心部の鉄道はJR線が東海道線・京浜東北線・南武線の3路線、京浜急行線が京急本線・大師線の合計5路線で、京急本線に乗って横浜方面に向かうと、線路脇に蔦に覆われた煉瓦構造物がひっそりと残っている。

この煉瓦構造物は、東海道貨物線の日線が京急線と交差する高架橋の煉瓦橋脚といわれているが、現在は片側の橋脚しか残っていない。この煉瓦構造物の周辺を歩いてみると、現在の道路の曲がり具合と地図上の道路線形からJR川崎駅から貨物線が流れていた頃の線形を想像することができる。



画像①道もマンションも曲がる廃線跡



画像②上部が蔦に覆われた煉瓦橋脚



画像③煉瓦橋脚の反対側は更地

新報社刊「日本鉄道旅行地図帳・関東2(H20年)」で確認すると、JR川崎駅周辺は貨物線より旅客線(京急大師線・川崎市電)の廃線が多く、臨海部の工業地帯の貨物線のいくつかは、現役続行中であるらしい。川崎市臨海部は、江戸時代中期ごろに遠浅の海岸を新田開発し、明治20年代後半から陸側が造成された。明治41(1908)年に浅野総一郎が安田善次郎や渋沢栄一とともに設立した鶴見埋立組合が埋立工事とあわせて堤防の築造、運河の開削、道路整備と鉄道の敷設を「鶴見・川崎地先の海面埋立事業」として申請し、大正2(1913)年の着工後、昭和3(1928)年に京浜工業地帯の基礎となる埋立地が整備された。埋立事業は着工の翌年、鶴見埋立会社(現東亜建設工業)が引き継ぎ、第二次世界大戦を挟みながら平成の今日まで続けられている。しかし、残念なことに川崎の臨海部の貨物線沿線には煉瓦の構造物を見つけることはできなかった。



画像④現在の貨物線(複線で高架化)



画像⑤高架橋の緑地が旧貨物線跡



画像⑥線形がうかがえる旧貨物線跡

一方、多摩川上流部で採掘された砂利を鉄道から船に積み替え、東京湾沿岸に輸送していた多摩川右岸の船溜り昭和3(1928)年開業の川崎河岸駅の貨物ターミナルの痕跡は見る影もない。川崎河岸駅と南武線を結んでいた貨物線は昭和47(1972)年の廃線後、一部が「さいわい緑道」になっている。

## 5. 旧丸山小学校グラウンドに「まるやまベンチ」完成

事務局

平成26年11月に熊本県八代市で開催された「第16回全国高等専門学校デザインコンペティション」において、学生が地元住民や当法人などから要望・意見を聞き取り、企画書を作成し応募した「みんなの小屋」が審査員特別賞を受賞した。その後、現地に実際に小屋設置を計画したものの、学生も入れ替わり月日が経過していたところ、昨年10月に尾上亮介建設システム工学科教授から卒業研究として設置に向けて検討したいと連絡があった。計画を引き継いだ5年生海邊優斗君と中村公音さんと教授立ち合いの協議会がもたれ、当法人理事と大工の田中さんとが参加した。提案された名称「フォーリー」は、当初の案と違い、木造で風通しが良く生徒でも施工しやすい設計の斬新なデザインのものであった。当法人理事も賛同、その後、地元小橋区長、舞鶴市担当課の了承を得て工事を進める手筈が整った。

早速、12月には基礎工事を実施、新年を迎え大雪で本体工事が延び延びとなったがようやく2月上旬に完成することが出来た。大工の田中さんには見積書、部材発注、現地指導と大変お世話になった。

2月24日に披露する運びとなり、多くの新聞記者が取材に訪れ広く報道されたところである。結局「まるやまベンチ」と名称が決まった。今後、このまるやまベンチを活用したイベントを計画し廃校舎旧丸山小の再生活用に繋げていきたい。



全景（ベンチと旧丸山小学校）



やるやまベンチに座る舞鶴高専生ら



関係者一同記念撮影

## 6. 冊子「赤煉瓦ジャズ祭の20年のあゆみ」を使ってまちづくり講演

理事長 馬場英男（会員NO.8）

昨年9月に当法人が発行した冊子「赤煉瓦ジャズ祭20年のあゆみ」を使い、2回のまちづくり講演を実施した。講演目的は、平成3年から20年にわたり開催した赤煉瓦ジャズ祭の活動内容を紹介することで、今後のまちづくりの参考となればとの思いで講演を行った。1回目は本年2月18日、「まいづる探索隊」のメンバー有志7名の参加で、全員に冊子を配布、活動報告の後、意見交換を行った。2回目は2月28日、舞鶴工業高等専門学校に出向き、視聴覚教室にて尾上教授と生徒16名に対し、パワーポイントと冊子を使用して「赤煉瓦を活かしたまちづくり」をテーマに講演の後、質疑を行った。質疑では、・20年も長く続けられた事について ・20回で辞めた理由について ・継続できる体制や思いについて ・まちづくり活動を研究する際の書籍の購入は個人とするのか ・視察について心掛ける事は ・どうしたら長く続けられるのか など熱心な質問があった。今日では、当たり前となった「赤煉瓦の街・舞鶴」の形成に赤煉瓦ジャズ祭の開催が果たした役割と、まちづくり活動の継続の重要性を理解していただいた。

今後も、新たな取り組みを実践する中で、本冊子が成功例のツールとして活用できるよう考えている。



① 「まいづる探索隊」のメンバー有志に対してレクチャー



② 舞鶴工業高等専門学校建設システム科生徒に対してレクチャー

舞鶴市立赤れんが博物館で企画展「平成28年度 新収蔵資料展」が、4月1日から5月14日（日）まで開催されている。

特に当法人関連として、二つのコーナーが設けられている。一つ目は、昨年10月に当法人主催で視察訪問したドイツのホフマン窯製煉瓦で当博物館に寄贈した「ルッシュ・クリンカー工業」製の煉瓦、二つ目は、昨年4月に市内見学で訪れた「倉梯山防空砲台跡」のセメント煉瓦が展示されている。他にも、オーストラリア、ロシアなど世界から集まった貴重な煉瓦が一挙公開されているので、会員としては必見です。ぜひ足をお運びください。



ドイツのホフマン窯「ルッシュ・クリンカー工業」製煉瓦



倉梯山防空砲台跡で採取したセメント煉瓦とビール瓶

## 8. 編集後記

事務局

平成3（1991）年6月に任意団体「赤煉瓦倶楽部・舞鶴」が発足、その後の平成12（2000）年8月のNPO法人化を経て、今日まで26年にわたり活動のときどきの情報を発信してきた本会報だが、今号で節目の100回を迎えた。先の理事会では、会報をホームページに掲載していることで、多方面からの問い合わせや舞鶴への来訪があり一定の効果があると発行の継続を希望する声が多くあった。今後も内外の赤煉瓦建物、まちづくり関連、木造廃校舎旧丸山小学校の再生活用などの情報を発信していくこととした。特に、会員の皆様からの投稿により、充実した紙面となることを期待しているところである。

さて先日、赤煉瓦ネットワーク会員で札幌市在住の喜田信代さんが、ご主人と共に舞鶴の赤煉瓦建造物の視察に来訪された。あいにく雨天の中であったが、舞鶴市立赤れんが博物館、まいづる赤れんがパーク、神崎ホフマン窯の視察に同行した。

喜田さんは永年全国の煉瓦建物を調査され、2000年2月に「日本れんが紀行」（日貿出版社刊 本体¥2,800）を執筆発行されたのに続き、本年2017年2月には「天主堂建築のパイオニア・鉄川興助」（日貿出版社刊 本体¥2,800）を発行された。十数年かけて調査を継続され今回ようやく発行できたと苦労話をお聞きすることが出来た。調査には、ご主人が同行されたとの事で、ご主人の協力がなければ成し得なかった労作である。ぜひ、二作ともお買い求めください。ちなみに、喜田さんは1948年長崎市生まれで、1967年三菱重工業（株）造船設計部勤務、1999年放送大学卒業、2004年放送大学大学院修了、2010年東京工業大学大学院人間環境システム博士後期課程満期退学、2016年札幌市立大学院デザイン研究科デザイン専攻修了。博士（デザイン学）で、頭が下がる努力家さんである。（h. b）

**会員資格**： 会費納入者（特別会員は除く）。入会金1,000円、年会費（個人2,000円、法人10,000円）。  
 なお、会員申込用紙は、ホームページからダウンロードできます。 ご寄附も受け付けます。  
**会費・寄付金等 振込先**： ゆうちょ銀行 口座番号（01010-6-21476） 加入者名：赤煉瓦倶楽部舞鶴